

平成27年度 学校評価

平成28年3月末実施

提出順に掲載します。(21家庭中 提出17家庭提出のうち非公開希望1)

Aさん

今年度も先生方には大変ご迷惑をおかけしまして申し訳ありませんでした。小学校入学から4年が経ち、あっという間だなと思います。息子は毎日楽しそうに学校へ行っています。先生方の厳しくも優しいご指導のおかげだと思っております。教育方針である「知育・徳育・体育の発達をはかる」が感じられる成長が（少しずつですが・・・）見られています。これから上級生となっていくしますので、立派に成長できるよう今後ともよろしくお願い致します。

Bさん

子供が入学し、あっという間に一年が過ぎました。保育園の頃から久慈川三育小学校を見ていて、とてもよい雰囲気为学校だなと思っていました。上の子供が公立の小学校なので迷いもありましたが、毎日学校に行くのを楽しみにしている子供を見ると、この学校に入学させてよかったなと感じています。毎日の日記に悩むこともあるようですが、それが親と子のコミュニケーションの一つでもあり、先生からのメッセージも励みになっています。学習だけではなく心も育てていただき、子供や学校から私達親も多くの事を学んでいます。

これからもこの学校でのびのびと生活できるように願っています。よろしくお願ひ致します。

Cさん

1年間、大変お世話になりました。

入学時に想像していた1年後の息子の姿、それを大きく上回る成長がみられた1年間でした。先生方が子供の特性や実態をきちんと見取り、その上で個々に応じたきめ細やかな指導をしてくださった結果だと思ひます。校長先生が「全国一小さな学校だけれど満足度全国一の学校を目指している。」とおっしゃられていた通り、何よりも子供の個性を尊重し大切にしてくださいましたことにとっても感謝し満足しております。

『一斉指導でなく個人に応じたきめ細やかな指導がなされる学校に入学させたい。』

そんな学校が自宅から通える範囲でないものかと探していました。そんな中、偶然にも久慈川三育小学校に巡り合いました。学校ホームページから見ることでできた学校評価や、

日々のブログを通して見えてきた在校生達の、笑顔あふれる学校生活を過ごす姿はまさに探し求めていた学校像そのものでした。少人数の学校だからこそ可能なであろう、実体験できる多種多彩な教育プログラムもとても魅力的に感じました。

しかし入学前に1点だけ心配がありました。それは学校の特色でもある聖書に基づいた心の教育についてです。6歳という低年齢で聖書の教えを知り学ぶことで、子供の心がどのように育つのか、クリスチャンではない私達は自分自身の経験がないために想像できず不安に感じていました。この1年を振り返り、息子の一番の成長を感じる部分は『心』です。他人を思いやる優しい心がよく育っていると思います。不安を抱いていた聖書に基づいた心の教育が、願っていた以上に息子の心を豊かにし、そしてたくましく成長させてくれました。久慈川三育小学校はまさに『豊かな心を育てる小学校』なのだと実感しています。これからも、より感謝する心や思いやりの気持ちが生まれ、心がますます大きく豊かに成長していけるように私達も見守っていきたいと思っています。

4月には娘も久慈川三育小学校に入学をします。希望する理由を聞くと「お兄ちゃんが毎日とっても楽しそう！あとよく学校でお出かけしているから」だそうです。給食ではなく大好きなお弁当を毎日食べられることも魅力的なようです。

来年度からは兄妹2人になりますが、どうぞ変わらぬご指導の程宜しくお願い致します。

Dさん

4番目の娘を昨年4月よりお世話になっています。保育園からの入学の為、学校にも慣れていると思っていたのですが、入学初日から大泣きで周りの人達を困惑させてしまいました。環境の変化によるものだったのかと思いますが、そんな娘を温かく見守り、根気よく指導頂いた先生方や小学校のお姉さんお兄さん、卒業生の先輩方に大変感謝しています。1年を経過し嘘のように学校に馴染んでおり、毎朝元気に登校しています。小学校には長女の転入から始まり、次女、三女とお世話になっています。それぞれがいろいろな問題を抱え、スムーズにはいかなかったところもありましたが、次女は無事北浦三育中を卒業し、春からは長女とともに広島で高校生活を送ることになりました。三育教育で最大のメリットは少人数教育で培われた責任感と積極性、さらに同級生や先輩、後輩との得難い絆だと思います。小学校生活の中で1年生から、途中からと徐々に増えていく仲間と卒業するころには強い絆が出来、その後三育教育を継続する子、離れていく子もありますが、卒業後も学校イベントや子供会イベントを通じて皆が参加してくれたりします。同級生だけでなく上下との関係も小さいうちから上手く構築出来る複式の少人数の学校は、現代社会においては稀有な存在であり、育っていった多くの先輩たちを見ていると、この学校で生活してきたことは本当に役立っているなど実感できます。あと5年間お世話になると思います。

この学校が末長く今のまま継続されることを望んでいます。

Eさん

三育小で子ども達がお世話になって感じることは二つの「きくこと」だと思います。

まず、一つ目の「きくこと」は先生方が子ども達の様子を見守ってくれてることです。低学年から高学年とで子ども達の心は大きく成長して行きますが、その時その時の発達度合いに応じた声に対して先入観や偏見を持たずに「きくこと」で本質的な解決に導いてくれる所です。

二つ目の「きくこと」は子ども達がきく態度です。聖書を学ぶ時間やお礼拝の時間があり、時として大人向けの30分位のお話をきくことがあります。低学年の子たちにはともすると理解できないくらいの難しい話になることもありますが、まずは静かに話し手の方を向ききちんと座ることを訓練していきます。長男は昨年卒業しましたが、三育小での6年間を通じて「きく姿勢」が身につけており、中学校の先生から話し手に敬意を持ってきくことが出来ているとお言葉をいただきました。

この二つの「きくこと」は学習面でのプログラムもさることながら、聖書の教えを大切にする三育小ならではのものだと思います。子ども達のはじめて接する学びの環境としてとても素晴らしいと思っております。

Fさん

1 はじめに

子どもは、小学校生活の後半の3年間を久慈川三育小学校でお世話になりました。つい先日卒業の日を迎えましたが、「光陰矢の如し」と申しますが月日が早く経過したように感じます。

子どもが多くのことを学ばせていただいた三育小での教育の数々の功績等について述べさせていただきます。

2 1年間の主な教育の歩み

【知育】～基礎学力の定着と体験学習の充実～

*先生方は、日頃の授業で、分かりやすく丁寧に指導してくださいます。教科によっては、交換授業があり、先生方が毎日全校の児童一人ひとりに指導しておられるので、落ち着いた和やかな雰囲気の中で、意欲的に学習に取り組めます。

〈国語・算数〉

・教科書の内容を学ぶと同時に、ドリルや年間を通して使う問題集を学校と家庭で活用して学習できるように指導して下さるので、着実に実力が身に付けられます。また放課後学習（希望制）では、お忙しい中、国語・算数の効果的な教材を活用して教えていただけるので、実力向上につながります。

・国語の「柿山伏」の教材では、実際にDVDを視聴して歌舞伎独自の表現の理解を深めることができました。算数の「水の体積」の単元では、三角錐の中の水を実際に立方体に移す

操作活動を通して、体積の理解が確実にになりました。

〈理科〉

・知識の習得や実験だけでなく、実際に校外へ自然観察に出かけて学校周辺の自然に触れ、生きた学習を行っています。また、発展学習としましては、昨年5月に「つくばエキスポセンター」に全校で出向き、様々な体験を通して「宇宙」について学ばせていただきました。

〈社会〉

・各学年の学習内容を有効なプリントを活用して教えてください、インターネットでの調べ学習も定期的に行うので、理解が確実にになります。また、5～6年生のまとめの学習では、一人ひとりのテーマに沿って調べ学習をパワーポイントを活用して発表し合って相互評価を行い、互いに友達の発表のよさを認め合い、知識を広めることができました。

〈音楽〉

・学年の枠を超えた合唱や合奏のご指導が行われ、校内の賛美歌礼拝などの発表の場が多いので、特に素晴らしい歌唱力が各学年の発達段階に応じて身に付きます。

〈英語〉

・1年生から外国人の先生が、週1回プリントや掲示物、CD等を用いて楽しく英会話をご指導くださるので、英語力の基礎が身に付きます。週にもう1時間、英語の教材を活用して担任の先生からも教えていただけるので、会話力が向上します。

〈総合〉

・5～6年生の学習では、学校の近所の教会の方の水田をお借りして、田植えや稲刈りを手作業で行い、昔ながらの唐箕も用いて収穫するという貴重な体験をさせていただきました。

〈日記〉

・入学してから卒業式まで毎日記入し、継続的に学習します。担任の先生の毎日のコメントは、子どもとの心の交流になり、また文章力の向上に大変役立ちます。

【徳育】

〈日頃の学校生活から育まれる心〉

＊牧師先生や担任の先生のご指導を通して、「感謝する心」や「奉仕する心」「喜びや悲しみを分かち合う心」等を学びます。また長い休み時間や校外学習などで、縦割りグループで協力し合いながら自主的に活動します。

〈土曜日の聖書の時間〉

・午前中に、教会の方と一緒に賛美歌を歌ったり、牧師先生や先生方、教会の方から聖書のお話を基にして、「人としての正しい生き方」や「希望をもって協力し合って活動することの大切さ」を学んだりします。

〈バイブル週間〉

・5～6月にかけての春期と10月の秋期にそれぞれ1週間、朝の時間を活用して小・中学校の牧師先生から、「命の泉」や「本当の人の子に」等のテーマで視聴覚教材や具体物を活用

しながら命の尊さや正直に誠実に生きることの大切さを教えていただきました。(毎年行われます。)

〈保育園との交流会〉

・各学年で交代で、保育園の園児の誕生会に参加し、歌やリコーダーの演奏をして、よりよい交流を行っています。交流会では、小学生と園児のお子さんが一緒に工作を行い、その作品を用いてゲームをする等して有意義な活動を行いました。

〈バザー〉

・毎年11月に教会の方や保育園関係の方、保護者の協力を得て小学校のバザーを実施します。当日は、小学生のアイデアを生かしたゲームコーナーや加工食品、食バザー、雑貨・中古衣料コーナー等で、多くのお客様にご来場いただき、盛り上がる行事です。この行事は、小学校の運営を支えるためにも実施されています。

〈〇ア卒業礼拝・〇イ卒業式〉

〇ア 3月上旬に6年生が、小学校で最も心に残った思い出等を教会の方や保護者の方、児童の皆さんの前で発表します。発表時には、先生に幼い頃の写真や小学校での成長の様子などを映し出していただき、まるで1つの講演会のように素晴らしい発表となりご指導の成果が表れます。

〇イ 先生方のご指導の下、卒業生の言葉の入ったメッセージの発表や先生方や在校生と一緒に歌う卒業式の歌、北浦三育中の先生方のご祝辞やピアノ演奏等も入り感動的な儀式でした。また式終了後には、教会の方や保護者の方など大勢の方からお祝いのお言葉をいただき、祝賀会では、早朝に教会の方が手作りされた美味しいお弁当をいただいておりますので、心温まる感慨深いひと時となりました。

〈レインボークラブ〉

・土曜日の午後や休日に、小学校や保育園の子どもたち等が、年間計画に従って様々な野外活動や自然体験・宿泊会に参加しています。15年前位から実施しているようですが、宿泊を通して聖書のことを学んだり、友達や参加した人々と色々な活動を楽しんだりして交流を深めています。

【体育】

〈朝の時間を活用した全校での取り組み〉

・1～2学期の水曜日には、一輪車の練習を行い、学期に1回程度「一輪車検定」を実施するので技能の向上につながっています。

・木曜日には、体操の後、毎週約1kmのマラソンを行います。毎回着順(タイム)カードが配布されることにより、それが励みになり次回への意欲や持久力アップの効果がでて、忍耐力も高まると思われれます。

・金曜日には、縄跳びの各種目にチャレンジし、練習を重ね、検定が行われるので、技能や体力の向上が図られます。

〈様々な授業〉

・日頃から発達段階に応じて、鉄棒、跳び箱等の器械運動やボール運動を楽しく行っています。また、月1回の水泳学習（ひたちなか市での水泳教室）やスケート体験学習（3学期に2回実施）も併せて実施されるので、児童の運動意欲が向上し多様な運動能力が身に付けられます。

〈運動会〉

・毎年5月に実施されますが、先生方のご指導の下、縦割りグループで力を合わせ、技術の高いダンス等を心を一つにして表現したり、持久走、各種競技、一輪車等の演技を披露したりして見応えのある行事です。保育園の園児や教会の方も参加し、よりよい交流の場となります。

3 終わりに

学校評価を作成するに当たって、保護者として参加させていただいた様々な行事等や子どもを通して伝わる学校教育の取り組みから、三育小の素晴らしさを紹介させていただきました。

校長先生をはじめ、先生方、牧師先生、教会の皆様に温かいご指導・ご支援をいただきながら、明るく思いやりのあるお子さん方と協力し合って実り多い学校生活を送ることができましたことに心から感謝申し上げます。

Gさん

小学4年生の学校生活をありがとうございました。

1年間を振り返り、娘は下級生の面倒を自分から率先した行動を取ることができるようになりました。縦割りクラスのあり方や先生方の指導があるからだと思います。

毎日の日課となっている日記には、先生からのメッセージや特別なハンコなど、わが子は楽しみしています。

毎年恒例の運動会の練習も、自宅に戻り宿題や日記が終わると「今度の運動会はこんな踊りをするよ。」「一輪車はここまで出来ないダメなんだ。」と言いながら楽しそうに暗くなるまで庭先で頑張っています。「失敗したら大変」という思いが、本人のやる気スイッチをONにしていることと思います。

学校や教会の行事での発表する機会が他校と違いとても多いので、私たち親からすると子供には良い経験になると思っております。

1年間を通じてビックイベントだった毎年恒例のバザーは、生徒や先生方や保護者が協力して会場作りから始まり値段を付けたりコミュニケーションの場になるのでとても良い行事だと思っております。

12月のクリスマス会での生徒による劇の発表には、私的には結構感動致しました。地位やお金や財宝でもなく心よりの贈りものこそが一番だと、子供に教えられる劇でした。

最後になりますが、今年度の百人一首大会にて負けた事やインフルエンザの為に欠席し

なくてはならない事になり、5年生になったら絶対に優勝するとの意気込みです。

他校には無い色々なイベントに対する先生方の計画や段取りに感謝しております。

来年度もよろしく申し上げます。

Hさん

小学校生活も2年が過ぎました。

1年生の時とは違い、下級生ができ本人も面倒をみてもらっていた立場から面倒をみてあげる立場に変わりましたが、なかなか相手の気持ちや自分のことが上手く伝わらなかったり、面倒をみるのがうまく出来ないために学校へ登校することを渋る時期もありました。

それらのことについて、本人へのその後の対応や私たち保護者の思いなども含め先生に相談させて頂きました。その甲斐もあって、色々ご迷惑をかけながら、今では登校を渋ることなく以前のように学校生活を送る事ができているようです。まだまだ本人も含めて課題はありますが、本人や私たち家族が納得がいくまで話を聞いて下さったり、その後の方向性についても良い方向へ向かうためにはどのようにしていくことが望ましいかを一緒に考えて下さり、また学校生活の中で実際に取り入れてその反応についてもお知らせ下さり大変ありがたいと思います。お忙しい中で、時間を作っていただきとても感謝しております。子供の事だけでなく、私たち保護者のことも真剣に考えて下さる先生方だと思います。今後も進級に伴い、成長もしていきますが課題もその都度出てくると思います。今後もその都度、確認やご相談をさせて頂きながら通学をさせていきたいと思っています。

Iさん

まず、入学式へ出席したときに在校生の子供たちがとても礼儀正しく規律ある行動をしているのを見て驚き、先生方がとてもしっかりした教育をされているのだろうと感じました。

普段の生活では学校での出来事を連絡帳を通して事細かに報告して下さる点が大変素晴らしく、先生が子どもたちをよく見てくださっている事が伝わります。

複式学級ということで入学前は若干心配していたところがありましたが、友達や上・下級生が仲良くできるように一人ひとりと向き合いながら丁寧に指導をされており、いつも学校での出来事を楽しく話す子どもを見て安心させられます。

学校行事も子どもたちが興味を持って楽しく勉強できるものが多く、1年生から6年生まで全員が参加することで学校全体で盛り上がり、少人数制だからこそできる一体感を感じます。

久慈川三育小学校で過ごす6年間は他にはない特別な学びと気づきが得られると感じて

います。

親子共々、これからもよろしく願いいたします。

Jさん

今年度は毎日書いている日記の成長ぶりに感心させられました。日記を書いて先生のコメントをもらうことの繰り返しですが、表現力や自己分析力につながるのだと感じられました。

毎年実施している百人一首大会は、家庭では事前の練習をせずに参加したのですが、大会終了後に札を持ち帰ると、家では毎日練習するようになりました。そのうち飽きるのでしょうか、学校で百人一首大会が続く限り、どこかで頑張る日が来るのだらうと期待しています。

3年生からの書道の授業では、文字をきれいに書くことに目覚め、実際に上手に書けるようになったことが、本人の自信につながっているようです。

娘には、長期的な継続的な指導と飽きさせない楽しいイベントが、良い刺激になっているようです。時々頑固で、こだわりが多くなるとは思いますが、良い方向に成長を促していただけると幸いです。

今後ともよろしく願いいたします。

Kさん

久慈川三育小学校は、全校生徒25人の小さな学校です。教育の語源は、「引き出す」という意味だそうですが、久慈川三育は、ひとりひとりの個性を引き出してくれる学校だと思います。

私どもの二人の子どもは、大器晩成型だと信じておりますが、先生方があきらめることなく、子どもたちの良いところを引き出してくれています。姉は今年度6年生になりますが、1年生の時は、親子で沢山忘れ物はするし、宿題をするのもお弁当も食べるのもすごく遅く、これでは大丈夫かと思いましたが、5年たって、大分成長したところが見られます。とにかくいつも楽しく学校に行っています。

また、弟は、4年生になりますが、2年から3年になるとき、随分成長しました。先生方が息子の良いところを認めて下さり、それが息子の自信になり、やる気がでてきたように思います。毎日日記を書くのが宿題なのですが、それにより文章力がついたり、考える力がついているように思います。

また小学校内での縦割りの活動、お隣の保育園との交流、教会の方々との交流を通して、小さい子のお手伝いをしたり、ご年配の方々に励まして頂いたりすることも頑張ろうという原動力になっているように思います。娘は小さい子が大好きになり保育士になりたいと言っています。

また、近隣でお一人で住んでいらっしゃる先輩方を招待しての年一回のお食事会を通して、息子は年ごとにコミュニケーション力をつけているように思います。2年生の時は、隣に座って下さった方と恥ずかしくて一言も話さずお食事会を終えましたが3年生になりましたら、なんとか話しかけると決心して、頑張ったそうです。その様子を聞いて私も嬉しくなりました。

季節ごとに変わる学校の玄関の花壇、教室や廊下の色とりどりの飾り付け、学校のバスの先生方の手作りの椅子カバーなどを見る度に、先生方をはじめ、セブンスディ教会の方々の働きにより小さい学校にしかできない様々な引き出しを精一杯使って全力で支えて下さっていると感じます。ありがとうございます。

Lさん

先日、6年間お世話になった三育小学校を無事卒業することができました。ラッキーなこと、この6年間先生方の転勤などもなく、息子も安心して通うことができたのではないかと思います。思えば6年前、人前で何か発表したりするのがとても苦手でその点で苦労した息子でしたが、卒業式で堂々と胸を張って前へ出ている姿を見て、この6年間での成長を改めて感じ、親としても非常に勇気づけられました。ここまで来るのに、先生方も大変な時もあったかと思えます。温かく見守り、また時に厳しく(おそらく)導いて下さったことを心から感謝しております。

三育小学校で、聖書の時間またクリスチャンの先生方を通して、神様の本当の愛を学び、善悪を学び、たくさんの経験をさせて頂いたことは何にも勝る大きな学びだったと思えます。本当に大切なものに気付いて、たくさんの方がこの小学校へと導かれるよう願っています。

Mさん

娘がたいへんお世話になっております。

毎日、授業を楽しんで受けて帰ってきています、帰宅してから宿題を自らすすんでやるようですし、また習ったことを問題にして質問してくれますが、答えられないとしっかり教えてくれます。

このようなやり取りが、毎日のようにありますので、学校では印象に残る興味深い授業を常に実施されているのだと感じています。

また、授業の準備にはたいへんなご苦労があるのだらうと思えます。子供が興味を持って取り組んだことに対して先生方は常に子供の気持ちを大事にしてくれるような前向きの言葉をかけてくださります。親としては、冗談のように否定的なことを言うことがありますが、それではいけないのだと反省させられています。

学校では、マズイところをしっかりと指導している場面も見かけますので、マズイところを放置することがないように、とても指導が行き届いていると感じています。

これまで子供を過保護にして甘やかして育ててきたと思っておりました。しかし、家庭環境が変わり、今後どのようにしたら良いかと頭を悩ませましたが、3年間の学校生活のなかでかなり成長しており、ひとりでうまくやれることに気がつき、余計な心配をする必要がなかったと、たいへん驚いております。

小学校の先生方、児童と保護者の方々から、あたたかく見守られて支えられている環境にいることにとても感謝しております。

Nさん

先日次女の卒業を迎え、長女を含め8年間お世話になったこの小学校の生活を終えました。お世話になった先生方、レインボークラブ、教会、保護者会の方々には大変感謝しております。

8年の間にはたくさんのうれしいことやたのしいことがありましたが、耐え切れないほど悲しいこともありました。でもそんなときに、お残りで放課後勉強をみていただいたりレインボークラブで送り迎えをしていただいて野外活動につれだしていただいたり、子供たちはたくさんの大人に見守られて乗り越えてくれました。そんな子供たちをみて私も助けられました。

20数人の小さい学校は確かに大人数のなかで揉まれることはないかもしれませんが、はじかれることもない自分が特別な存在であることを意識できる環境です。大人になるに従いどうしても競争の世界の中で生きなければならなくなるとは思いますが、小学校の6年間だけでもそういった環境で過ごせたという幸せな思い出が、今後の彼女たちの人生の宝物になるといいと思っています。そんな学校を選んでくれた妻に感謝したいと思っています。

Oさん

茨城に引っ越すことになり、転校に不安があった時に、三育小学校のHPをみつけて、これが縁で上の子が3年生のときからお世話になることになりました。

転校をしたことで、学校に行きたがらなくなったり、転校をしたことで小学校生活を後悔してしまうことは絶対にさせたくはありませんでした。HPを見ながら、「この学校だったら。」という期待があり、すぐに学校見学へ行きました。決め手となったのは、「この学校に通いたい！」と言った、あの時のあの子からの言葉でした。

それから、早4年が過ぎ、今年無事に卒業を迎えることができました。あの時、あの子が言った言葉に間違いはなかったのだと、今では確信しています。

こんなに、温かく見守ってくれている先生方と、普通の生活では、体験できないことも

沢山体験しながら、本当に心を育てる教育をしてくださってるのだなあと思っています。

我が家はクリスチャンではないので、聖書の教えを知っている者は誰もいませんし、祖父母もそういうことはありませんでしたが、子供たちからいろんなことを教えてもらいます。

神様のことを知るということが、こんなにも、心を強くしてくれているのかと思うこともあります。それを知っていることと、知らないことでは、こうも違うのかなあと思われることも、多々あります。

そして、やはり大きかったのは、学校には毎日楽しく通ってくれていたことです。学校が嫌だとか、そんなことは一度も聞いたことがありません。本当に、先生方には感謝でいっぱいです。

現在では、下の子も三育小学校にお世話になっております。先生方やまわりの方の温かなご指導があったおかげでここまでこられたのだと思っています。まだまだ、これからもお世話になることが多々ありますがご指導のほどよろしく願いいたします。

Pさん

息子は今年の3月に無事卒業しました。久慈川三育小学校では3年間お世話になりました。正直言って、私たち親子にとって決して楽に過ごしてこれたわけではありません。息子にとって3度目の転校でしたし、特に文字に対して苦手な部分を持っていましたので、学校に通い続けることが困難に感じるが多々ありました。親子でくじけそうになったことも何度もありました。

今言えることは、何と言っても息子本人が一生懸命頑張ったということです。そしてこの学校だったからこそ、私たち親子は頑張ってこれたと思います。学校側、と良い連携を取れたことはとても感謝でした。

親として子供のことを、できるだけ理解して子供に何が必要かを探り、その子にあった支援をしていくことを家庭だけでなく学校側と一緒にやれたことは何よりも息子の成長につながったと思います。

色々な学校の活動や人間関係の中で、息子は自分らしさを見出す鍵を見つけることができたと思います。息子は決して優秀ではありませんが、色々な可能性を持っていてそれを学校で少し引き出してもらえたと思います。それが基礎となってこれからも自分らしく自分を大切に、中学校でもやっていけるのだと思います。

3年間だけでしたが、久慈川三育小学校で学ばせていただいたことを心から感謝しています。